

ごあいさつ

現在、江差・道南地域の歴史文化に関する地域資産は、消失や散逸の危機に直面しているもの、また残ってはいるものの、活用が進んでいないものがたくさんあります。

私たちは、江差・道南地域の歴史文化に関する地域資産の保全・伝承・活用、維持、管理、運営に関わることで、地域コミュニティ活動や子どもの健全育成、社会教育、観光振興を図り、地域課題の解決等、歴史を生かしたまちづくりに貢献することを目的とし、一般社団法人 江差歴史文化再生機構を令和6年6月に設立いたしました。

みなさまには本趣旨に賛同いただき、お力添えをいただきながら、活動していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人 江差歴史文化再生機構

理事長 亀田 宏

法人役員 飯田 富洋・池ノ上 真一・植木 伸一
大古 正平・小田島 訓・三上 修吾
藤谷 直久・室谷 元男

アクセス・お問合せ先

■ ■ ■

事務所は江差町いにしえ街道沿いの土蔵「語り部茶屋」内にあります。土蔵ホールには喫茶店も併設されていますので、ぜひ併せてお立ち寄り下さい。



一般社団法人

江差歴史文化再生機構

事務局: 043-0034

北海道檜山郡江差町字中歌町70番地1

電話: 090-7053-5239 (植木)

Eメール: info@e-rekibun.sakura.ne.jp

WEBサイト: https://e-rekibun.sakura.ne.jp/

江差れきぶん
WEBサイト



e.rekibun



e_rekibun



一般社団法人
江差歴史文化再生機構



活動内容のご案内

■ 取り組む事業

- (1) 歴史的な建造物や生活文化など、江差・道南地域の歴史文化に関する調査事業
- (2) 江差・道南地域の歴史文化に関する教育・普及啓発事業、講演会、研修会、セミナーの実施
- (3) 文化財の保存・活用を推進する事業
- (4) 歴史的な建造物等の管理・運営等に関する事業
- (5) 歴史的な建造物等の不動産賃貸借、売買に関する事業
- (6) 歴史的な建造物等を生かしたコンサルタント事業
- (7) 歴史的な建造物等を生かしたイベント開催事業
- (8) 歴史的な建造物等を生かしたガイド等育成事業
- (9) 歴史的な建造物等を活用した特産品及び飲食品の企画開発及び販売、宿泊等、経済活動の活性化を図る事業
- (10) 前各号に附帯又は関連する事業



会員募集のご案内

当法人の趣旨にご賛同いただき、その活動にご協力・ご支援いただける下記の会員を募集しております。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

■ 会員種別・年会費

1. 賛助個人会員	一口 5,000円(一口以上)
2. 賛助団体会員	一口 10,000円(一口以上)
3. アンバサダー会員	一口 10,000円(一口以上)

※ アンバサダー会員とは、当法人の活動を広めていただくことを目的に、応援や広報の大使、熱烈なファン、支援者という位置付けで設けています。アンバサダー会員の皆さまには任命書をお渡しし、当法人が企画するイベント等にスタッフ用グッズを着用してご参加いただき、活動を応援していただきます。

■ 連絡先・入会お申し込み

事務局: 043-0034

北海道檜山郡江差町字中歌町70番地1

電話: 090-7053-5239 (植木)

Eメール: info@e-rekibun.sakura.ne.jp



当法人の家印「カギエ」について

「カギ」は土蔵の鍵を現し、「エ」は江差の「エ」から取りました。蔵を持つ商家が並ぶ「古き良き江差」のイメージと、再び江差の歴史文化の扉を開きたいとの思いを家印にしました。



土蔵のカギ



カギ穴

アンバサダー会員からの応援メッセージ

会員代表 角 幸博さん

北海道大学名誉教授

NPO法人歴史的地域資産研究機構 代表理事

これまでに、いにしえ街道や旧檜山爾志郡役所庁舎などの調査や、文化財の保存活用に関する計画づくりに深く関る機会がありました。

地域の歴史文化に触れ、江差追分に魅了されるとともに、姥神大神宮渡御祭が近づくとあちこちから子供らの祭囃子が聞こえ、暮らしに根づく伝統の深さや地域の宝物に接し、感動いたしました。

この度の法人設立により、世界に誇れる江差・道南地域の歴史文化を次世代に継承し、地域課題の解決に貢献されていくとのこと。この高い志に共感し、ささやかながらも多くの方々力を結集し、強力に応援して参りたいと思います。

佐々木 馨さん

北海道教育大学名誉教授

函館の歴史的風土を守る会 前会長

「江差の五月は江戸にもない」が人口に膾炙されて久しい。北前船交易の賑わいを伝えるこの伝承を耳にして、人は何を思い浮かべるだろうか。ある人は、横山家・旧中村家の豪商文化と江差追分の芸能文化であろうか。またある人は、正覚院・法華寺と姥神大神宮の神仏習合の宗教文化であろうか。この「北前船の江差」を核に「城下の松前」「開港地の函館」の「三港」体制を矜持として、道南の地域資産を発信していきたいと思う。